



個性を生かしつつ、あらゆる分野に参画できる社会をめざして

特集 将来は「ともに働き ともに子育て」 若い世代の男女共同参画意識

世界経済フォーラム（各界のリーダーによる国際機関）は平成25年10月、世界各国の男女平等の度合いを指数化したジェンダーギャップ指数を発表しました。これは、経済、教育、健康、政治の4つの分野の男女格差を指数化したものであり、日本は調査対象の136か国中105位で、平成24年の101位より後退している状況にあります。（日本経済新聞10月15日参考）

これから社会へはばたく若者が男女共同参画についてどのような意識を持っているかを知りたいと思い、高校生に男女平等感や夢についてお話を伺いました。



習志野高校3年生の皆さん

習志野市立習志野高等学校。男女共学、生徒数972名（男子522名、女子450名、平成26年1月1日現在）昭和32年に開校し、文武両立を実践し、数々の輝かしい実績を残しています。

第29号
2014.2

開催報告

「わたしへのごほうび講座
～ココロを軽くするワーク
ショップ」を開催しました

講師 NPO法人パートナー
シップながれや代表山口文代さん他



山口文代さん

平成25年9月3日から10月29日まで子育て中の女性を対象に、全5回の講座を開催しました。参加者の方は、お子様連れで熱心に学んでいました。アンケートからは、「悩んでいるのは自分だけではない」「子どもを預けて自分と向き合う時間ができた」などの感想がありました。

- 第1回 自分のいいとこさがし～親子であそぼ!あそぼ!～
- 第2回 ひとりひとりが幸せな社会を目指して
- 第3回 ハッピーなワタシになるために!
- 第4回 ココロをかる～ カラーセラピー講座
- 第5回 わたしの一歩を見つけた!夢をかたちに

きらきら編集委員募集

「きらきら」は、男女共同参画社会づくりのための情報紙です。市民のボランティアで作成されています。あなたのアイデアを情報紙の企画、編集に活かしてみませんか。

対象：編集に興味のある人
申込み：3/15までに住所、氏名、電話番号、簡単な自己紹介を記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。

住所：〒275-0016
習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼 5階
ステップならしの 宛
電話 047(453)9307
FAX 047(453)9327



図書紹介

「働く君に贈る25の言葉」

佐々木 常夫 著 WAVE出版



初めて社会人となる若者に向けて、ビジネスマンの仕事に対する考え方、生き方を、著者の実例に基づき読みやすく書かれています。例えば「君が自分を大切にしなければまず相手を尊重すること」「思い込みは君を間違った場所に連れていく」などのメッセージは若者だけでなく、世代を問わず生き方のヒントになります。

ステップならしの図書コーナーでは男女共同参画や市民活動に関する図書や資料を閲覧できます。図書の貸し出しは一人5冊、2週間まで借りることができます。どうぞご利用ください。

女性の生き方相談

～ひとりで悩んでいませんか～
女性の専門相談員があなたと一緒に考えます

自分自身の生き方、職場の人間関係、男女のこと、夫婦のこと、家族のこと、DVのこと

無料 予約制 随時受付 秘密厳守

(第1金曜、夜間相談を実施しています ※のつく日)
相談日(毎月第1・3金曜日/第2・4火曜日) 予定

3月	※7日・11日・25日・28日
4月	※4日・8日・18日・22日
5月	※9日・13日・16日・27日
6月	※6日・10日・20日・24日
7月	※4日・8日・18日・22日

相談時間 午前10時～午後4時
(第1金曜は午後1時～7時)
受付電話 047(453)9307
午前8時30分～午後5時(日、祝日除く)

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。

習志野市男女共同参画センター

ステップならしの

〒275-0016 習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼 5階

Tel: 047(453)9307 Fax: 047(453)9327

開館時間: 平日 午前9時～午後9時・土曜 午前9時～午後5時



「きらきら」は習志野市のホームページでもご覧になることができます。 [トップページ](#) → [市政情報](#) → [男女共同参画](#) → [情報紙きらきら](#)

(編集後記) 「きらきら」は、公募による編集委員が企画、編集しています。

- ★ 皆さんはしっかりとした自分の考えをもって素晴らしい。社会人になっても、いかしてはいいです。(我)
 - ★ 取材後、一人の生徒が「いろいろ話せて良かったです」と、これを知りただけで今回の特集の意味があったと感じました。(山)
- 次回発行は2014年7月の予定です

将来は「ともに働き ともに子育て」

「きらきら」インタビュー

若い世代の男女共同参画意識

今回は「若い世代の男女共同参画意識」をテーマとし、市立習志野高校吹奏楽部の3年生6人の皆さんに男女平等感について取材をしました。

身近な家庭の場や学校生活で、平等、不平等と感じたことはありますか。(敬称略)

【家庭生活で】

木村：特に感じたことはありません。

私の家庭は母と中学1年の妹の3人です。母が働き家事もやっています。帰宅時間のずれもあって、洗濯は自分の物は自分で洗い、家事も自分のことは自分でやっています。

杉田：私も家庭では特に感じたことはなく、母も働いているので父は進んで家事を手伝っています。

小川：両親共働きで家事は全員で協力してやっています。

片井：母親は専業主婦で、普段は母が中心に家事をこなしており、年末の大掃除などでは父が手伝っています。小学生の妹の面倒をみなさいと言われることもあります。

積田：私も特に感じたことはないです。妹の帰宅時間が遅くなった時に親は怒ります。5歳の弟が泣くと「男だから泣くな」と親は言います。

秋本：私も家庭では特に感じたことはありません。

何度か妹と比較されることがありました。

【学校生活で】

杉田：吹奏楽部の活動の時、楽器の運搬の力仕事は男子が主にしていて「女子は弱い」と勝手に決めつけられないでほしいと思いました。

木村：確かに楽器などの作業は男子が担当になっています。

髪型や服装の指導については、女子の方に多く注意しています。

秋本：吹奏楽部の部長は今回も男子であり「なぜだろう」と思っています。男子の方が我慢強いと先生が思っているかもしれません。55代のうち女子が1代で他は男子が部長を受け継いでいます。投票で名前を出した時は女子が出ていますが、女子の中にも男子が良いのではという意識があると思います。

片井：男子の人数は少ないけれど無意識のうちに男子でなくてはだめという気持ちがありそうです。

小川：学校で不平等と感じることはありません。

積田：一部の運動部ではマネージャーは女子と決まっているような感じがします。本来の仕事の枠を超えている時があると思い、結構負担が重く感じます。

将来、共働きで家事や育児を互いに積極的に担う家庭にしたいですか、あるいは妻は専業主婦で、家事や育児は妻が中心の家庭にしたいですか。

木村：妻が働きたいかどうか意思を尊重したいです。自分が大黒柱になり家庭を支えたいです。

子育ては妻だけではなく、子どもと一緒に時間があればいいなと思います。

杉田：子どもが小さい時は家にいて、小学生くらいになったら仕事をしたいです。収入の安定のためにも二人で働いて、家事・子育ても支え合っていきたいです。

小川：仕事を続けたいか本人の意思を確認したいです。共働きになったら家事育児についても協力してやっていきたいです。子どもができれば育休を取りたいと思いますし、妻の体調に配慮して対応していきたいです。

片井：子どもが生まれてからも育休を取ったり保育園に入れて仕事を続けて、しっかり働いて家計を支えたいです。子育てや家事は協力してやっていきたいです。

積田：ずっと働いてくれる人と結婚したいです。仕事をしてくれた方が気が楽ですし、目標を持ってくれた人の方がいいです。

秋本：結婚や出産しても仕事を続けたいです。将来は音楽家をめざして、自宅でレッスンをやりたいです。家事も出来る人がいいです。

将来就きたい職業や夢はありますか。それは性別で制約されると思いますか。

木村：現在は決まっていますが、人とかかわり、人を助けるような仕事に就きたいです。

男性も女性も、どんな仕事でもやりたい夢をつぶされてはいけなし、同じモチベーションで仕事ができるとうれしいと思います。

杉田：まだ確定はしていませんが、美容師になりたいと思っています。直接お客様と接する仕事をしたいです。昔、男性は理容師、女性は美容師というイメージがありましたが、今は男女差がなくなってきていると思います。

小川：警察官です。採用試験で男性に有利な気がしますが、男性は年に3回ありますが女性は1回です。募集人数も男性の方が多いです。

片井：今はまだ決まっていません。大学に進学してから決めたいです。社会に出ると上司は男性が多く、女性はその下で働いているイメージがありません。

積田：ホテルやレストラン関係に就きたいと思っています。この業界は男性が前方で女性が後方というイメージがあります。

秋本：音楽家になりたいです。人に感動を与えるような仕事をしたいです。柔らかな表現は女性の方が適していると思います。音楽の分野で第一線で活躍しているのは男性が多いように思います。女性は育児で引退しているせいかなと思います。

【取材を終えて】

取材した高校生の皆さんは、家庭や学校生活について不平等を感じていないようでした。将来についてしっかりした考えをもつ真面目な生徒の皆さんで、社会人になっても今の考えを持ち続けてもらいたいです。

この取材をきっかけに、若い人達も男女共同参画について関心を持ってくださると嬉しいです。ご協力ありがとうございました。



きむら りょう
木村 諒さん
元気で、明るいです。趣味は走ることです。
(取材を終えた感想)このような機会から男女共同参画のきっかけとし今後の人生につなげたい。



すぎた あやみ
杉田 彩美さん
特技はサックスを吹くことです。
(取材を終えた感想)もっと男女共同参画の知識を深めて頑張りたい。女性らしさも失いたくない。



おがわ かずきよ
小川 一清さん
趣味は楽器演奏、音楽鑑賞で、特技は空手です。
(取材を終えた感想)男女差別の授業も受けたが普段の生活も見直してみたい。



かたい ちさと
片井 千聖さん
吹奏楽部に所属していました。
(取材を終えた感想)男女差別の授業も受けたが具体的に質問されて考えることができた。



つみた こうすけ
積田 航佑さん
趣味はトランペットを吹くことです。
(取材を終えた感想)道場通所と男女のすみ分けが難しい。戦後から引きずってきた意識があると思う。



あきもと あやの
秋本 彩乃さん
特技はピアノとトロンボーンで音楽が大好きです。
(取材を終えた感想)このような場が初めてなので色々な意見が聞けて良かった。